

構造計算書 推奨構成例

番号	項目	備考
1	資格証の写し	建築士免許証、構造設計一級建築士証の写し
2	表紙	構造設計者（及び法適合確認者）の記名・構造設計一級建築士の表示・押印
3	目次	計算書全体の構成が把握できるもの
4	構造設計方針	構造上の特徴、構造設計方針、適用する構造計算及び使用プログラムの概要
5	仮定荷重	床、壁、特殊荷重（設備、増し打ち等）
6	入力データ根拠	モデル化（構造芯、構造階高、剛性増大率等） 追加荷重（補正重量等）
7	プログラムの認定書等の写し	大臣認定プログラムの場合（指定書・別添含む）
8	チェックリスト	
9	一貫計算構造計算書出力	ヘッダー、フッター、ページ等で一連の出力であることが確認でき、終了メッセージまで添付されたもの
10	基礎の設計	杭、地質調査報告書等含む
11	二次部材の設計	スラブ、小梁、階段等
12	その他の検討	梁貫通孔補強、局部震度、斜め加力、 杭芯ずれ、モデル化が複数ある場合の検討等
13	認定書等の写し	使用材料等

<お願い事項>

- ・応力図等の電算出力の文字が小さい又は重なって表示されている場合等、判読が困難で判定作業に必要以上の時間を要したり、再提出を求めたりすることがありますので注意してください。
- ・両面印刷はかまいませんが、集約印刷（A4・2枚→1/2縮小→A4・1枚）は上記と同じく文字の判読が困難となる場合が多いため行わないで下さい。
- ・ページ番号は通し番号又は枝番号式（Ⅰ-〇〇、Ⅱ-〇〇等）とし、重複のないようにしてください。

構造図 推奨構成例

番号	項目
1	特記仕様書
2	標準仕様書
3	標準図（S、RC、SRC、地盤改良、認定柱脚、梁貫通孔補強等）
4	地質調査図（柱状図）
5	杭伏図、基礎伏図
6	各階伏図
7	軸組図
8	杭リスト
9	基礎リスト
10	柱芯線図
11	柱リスト
12	大梁リスト
13	小梁・スラブ・壁リスト
14	架構配筋図・鉄骨詳細図
15	雑詳細図
16	その他（ボイドスラブ、PC板等）

<お願い事項>

- ・大規模物件を除いて、図面の大きさはできるだけA2サイズとしてください。